


ぎ じゆつ かん きよう まも まき
技術とデザインで環境を守るぞ! の巻

ほん だ かぶ しき がい しゃ せい けい
本多プラス 株式会社 成形メーカー

所在地 新城市川路字夜燈23-2 TEL 0536-23-1351



いつも手にする容器も
 本多プラスのアイテムかも

1946年創業の本多プラスは、化粧品や文具、食品、医薬品などのパッケージを作っているプラスチック成形メーカーです。商品のデザインや金型製作、生産、販売と、全てのことが本多プラスだけでできるという特長があります。



年間生産数2億個!
 地元から世界へ輸出!

本多プラスでは、3,000種類以上のアイテムを扱い、ブロー成形と呼ばれる生産技術で年間2億個の商品を生産しています。その商品は海外にも輸出されており、本多プラスは日本でも有数のプラスチック成形メーカーなのです。

ブロー成形って何ですか?

ブロー成形とは、プラスチック容器を作る方法のことです。まず、溶けたプラスチックをパイプ状にし、金型ではさみます。勢よく風を送り込んでプラスチックを膨らませ、金型の内側に貼り付けさせて冷やします。その後、金型を開くとプラスチック容器ができるのです。

ame 捨てられるモノから美しいアイテムが誕生



リングやイヤリングをはじめ、お皿、ティッシュケースなど、プラスチックとは思えない輝きと美しいフォルムが見る人を魅了するブランド「ame」のアイテム。これらが全て捨てられるはずだったプラスチックから作られているというから、さらに驚きです! では、なぜ捨てられるはずだったプラスチックから商品を作ろうと思ったのでしょうか?



捨てるモノだけど、キレイでもったいないが始まり

いま世界では海洋汚染や大気汚染などの環境問題が注目されています。一般的には使わなくなったプラスチックは焼却されるため、地球温暖化の原因になる二酸化炭素が排出されます。一方で、捨ててしまうモノでも、とてもキレイで捨てるにはもったいないものもあります。そこで、この状況を改善することができないかと本多プラスは考えたのです。



技術とデザインのカで長く愛されるアイテムにしよう!

まず最初に、使わなくなったプラスチックをどのように利用するかを考えた時に、資源の有効活用を目指したリデュース・リユース・リサイクルを大切にしつつ、本多プラスも持つ技術とデザインを合わせることで新しい商品を生み出そうとしました。そして、捨てられる素材や商品を少なくするために、美しく長く愛される商品を作ることにしたのです。



2つのカで
解決だ!

技術

デザイン

スタッフさんに聞きました! 苦労したところはどこですか?

クラフトマン

ameは当社が扱う他のパッケージと違い、素材も製法も世界で初めての取り組みだったため、ハンドメイドながら美しさと使いやすさを両立させることが難しかったです。

デザイナー

プラスチックの「安い」イメージをなくすために、ガラスアーティストといっしょにデザインの制作をしました。ガラスにも負けない、素材本来が持つ美しさを生かしていきました。

CHECK!!

環境を守る「3R」の意味って何ですか?

Reduce、Reuse、Recycleの3つのRの総称で、限りある資源の活用を目指した活動です。

Reduce

リデュース

製品を作る時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物を少なくすること。

Reuse

リユース

使用した製品やその部品などを繰り返し使うこと。

Recycle

リサイクル

廃棄物等を原材料やエネルギー源として再利用すること。

ameの誕生で会社に 色々な変化があったよ



捨てられるはずだったプラスチックを使ってameのアイテムを作ること、会社全体で捨てるプラスチックは大幅に減りました。また、新しいプラスチックの製法や素材づくりが進められ、捨てられるプラスチックをさらに減らす取り組みがされています。



新たに開発された地球に優しい技術

本多プラスでは、環境問題に取り組むために他にもさまざまな技術を開発しています。

メカニカル リサイクル プラスチック



回収した使用済みペットボトルを、キレイに除染して新たな容器として再利用するリサイクル方法です。

バイオマス プラスチック



植物などを原料にした再生可能なプラスチック。地球に優しいため、いま注目を集めている素材です。

社長からみんなに MESSAGE

ずっとそばにいて欲しい製品になるために

独自の技術とデザインで新しい価値を創造するクリエイティブプラスチックメーカーとして、限られた資源であるプラスチックの魅力や価値を世界に発信・展開していきたいです。そして、デザイン×ものづくりで「きれいなものを作る」を突き詰めて、世界に通用するブランドを目指していきたいです。

代表取締役

本多 孝充さん

